

はと・ほし・つきぐみだより

1月

たこあげ

ビニール袋に好きな絵を描いて、オリジナルの凧を作りました。

凧を高く飛ばそうと、寒さにも負けず必死に走ります。どうしたら高く飛ぶかを考えて、お友達の凧を持って協力したり、そんな年長さんの姿を見た年下のお友達もそれを真似してみたりと、体が温まるまでたくさん走りました。

(健康な心と体、自然との関わり・生命尊重)



ふくわらい



「まえ!」「よこ!」と教えてあげるはと組さん、ほし・つき組さんの中には、「みぎ!」「ひだり!」と細かい向きも教えてあげていました。目隠しを外すと、変な顔のおかめやピカチュウをお友達と笑い合いながら伝承遊びに親しむ子ども達です。周りのお友達がこそっと正しい位置に変えてあげていて、そんな姿も微笑ましかったです。

(協同性、数量・図形、文字等への関心・感覚)



冬の発見

かるた



かるた遊びでは、2、3人でしていると「かてて〜」「いいよ!」のやり取りと共にだんだん人数が増えていきます。はと組さんは絵を頼りに探し、年齢が上がると絵と文字を頼りに探していました。読む人の顔を真剣に見て、パン!と勢いよくかるたに飛び込む子ども達です。

(道徳性・規範意識の芽生え、数量・図形、文字等への関心・感覚)



気温が低い日の朝は、霜で園庭のロフトや玩具の表面が真っ白になっています。普段、泥水を食べ物に見立ててままごとをする子どもがいますが、ある日の朝、お皿に入っていた泥水が固まっているのを発見しました。触ってみたり、スプーンで突っついてみたり、いつもと違う感触を楽しんでいました。

(自然との関わり・生命尊重)